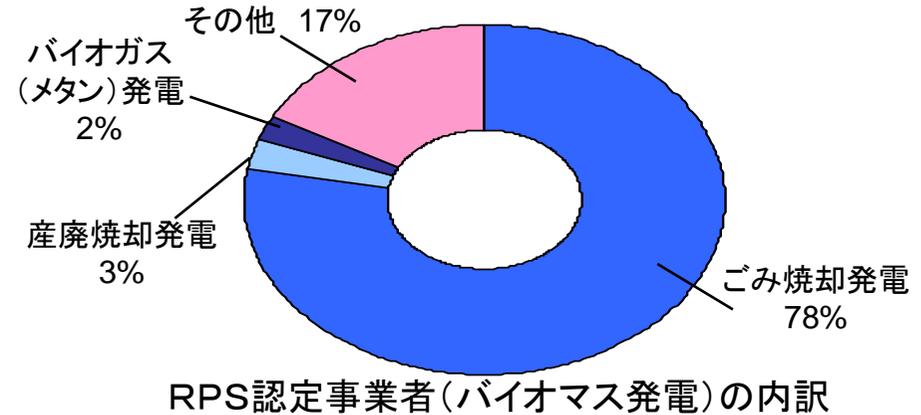
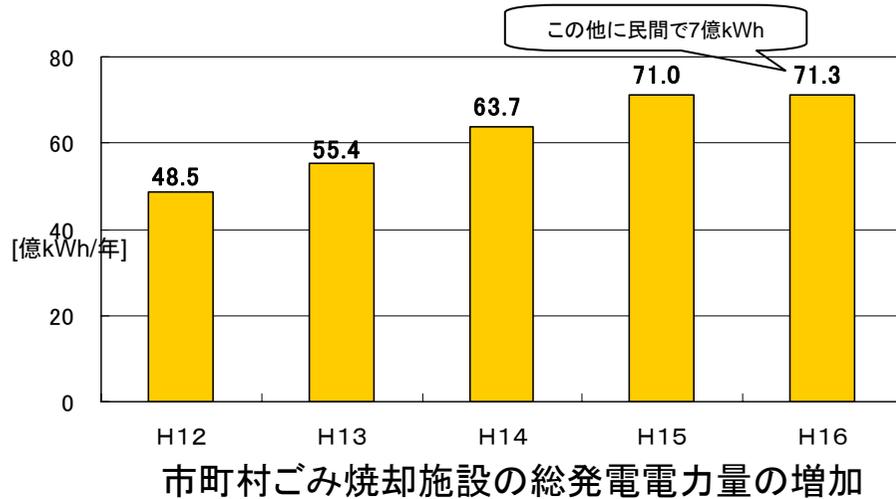


廃棄物からのエネルギー回収 (Waste to Energy) について

□ 廃棄物焼却のダイオキシン問題解決を背景に廃棄物発電が進展。1645のごみ焼却施設のうち発電可能な施設は20%(303施設)に達し、全国のごみ焼却発電の発電量は年間約78億kWh(東電の100万kW級原発1基分に相当)。また、RPS法の認定を受けたバイオマス発電の大部分(78%)はごみ焼却発電。



廃棄物発電と廃棄物燃料製造事業(メタン回収を含む)を推進

○循環型社会形成推進交付金

人口5万人以上又は面積400km²以上の地域を構成する市町村(沖縄、離島は特例として要件に該当しない場合も交付対象)を対象に、循環型社会の形成を進めるための施設整備に対して事業費の1/3を市町村に一括交付



平成19年度は、
バイオガス化施設整備の推進等に力を入れる

○廃棄物処理施設における温暖化対策事業

廃棄物処理事業者等が行う高効率な廃棄物エネルギー利用施設及び高効率なバイオマス利用施設等の整備事業(新設、増設又は改造)について、これに伴う投資の増加費用に対して補助

自然環境に配慮した風力発電の推進

地球温暖化対策

- ・新エネルギー対策はCO₂削減の柱の一つ
- ⇒風力発電の一層の推進が重要



生物多様性・美しい景観の保全

- ・風況の良好な場所（海岸線・岬・山の稜線など）
- ⇒鳥の渡りルート、希少な野生生物の生息地
- ⇒自然公園など優れた景観やふるさとの景観を有する場所

バードストライクの発生
希少野生生物の生息への悪影響
優れた景観・ふるさとの景観の阻害

地域住民・環境団体とのあつれき



風車に衝突死したオジロワシ
(C) 猛禽類医学研究所

風力発電と自然環境保全の両立を目指した施策の展開

風力発電施設と自然環境保全に関する研究会

- ・環境省と資源エネルギー庁の研究会
- ・風力発電事業者、環境NGO等の関係者、学識経験者がメンバー
- ・風力発電と生物多様性・美しい景観の保全との両立のための方策について意見交換し、関係者で情報を共有

→
成果を
活用

風力発電施設に係る適正整備推進事業 (環境省、2億3千万、H19～)

- バードストライク防止策実証事業
 - ・色彩の工夫、ライトアップ
 - ・レーダーの使用
- 立地適正化事業
 - ・地形等の立地条件
 - ・猛禽類等の渡り情報